**曹洞宗大本山總持寺・ニコニコ法話　　　　　　　　　　　　　　　　　　 令和6年2月**

一瞬の宝もの。一瞬が宝もの。

**北海道　天総寺住職　谷龍嗣師**

**【今度はないね。だから…】**

新型コロナウイルスが流行し一年がたった頃の事です。七十代のお檀家さんのお宅に月参りでお伺いをしました。お参りが終わり居間でお茶を頂いていた時、そのお檀家さんがこんな話をしてくれました。

「和尚さん、悔しかったことがあるの。コロナが流行る前、友達三人で旅行に行ったの。楽しかった。ほんと楽しかった。でもね、その帰り際『また、今度ね』と笑顔で別れた友人の一人が、先日他界しました。しかも、コロナの影響でお別れも出来ませんでした。

『今度また旅行しようね』『今度また一緒にご飯食べに行こうね』と言って別れました。でも、その時は『もう会えない』なんて思わなかった。」とお話してくれました。

そして、その女性は続けてこんなことを話してくれました。

「和尚さん、コロナの影響を受けて、分かった事があります。それは『今度は無い』と言うこと。だって『今度はある』って思っていましたから。だからね。『今を大切にしよう』と思ったんです。」という言葉でした。

そして、最後にその女性が言った一言で私は、はっとさせられました。

「でもね、和尚さん。『今度は無い』って、コロナ関係ないもんね。コロナの前でも、コロナの最中でも、コロナの後でも『今度は無い』って変わらないもんね。でも、人って、気付けないんですよね。」という一言でした。

私は改めて、今を生きる「自分の生き方」を教えてもらった気がします。

**【無常を観ずる】**

「無常を観ずること忘るべからず、是れ探道の心を励ますなり (『坐禅用心記』)」という瑩山禅師様の教えがあります。これは、この世は、移ろいやすく常なるものなどありません。そうした世の中を生きる「あなたの足元」をしっかりと観続けることが、苦難の人生の道を歩む励み（心の支え）となります」という意味です。

　私は大本山總持寺での修業中「自らの足元をよく見ると、あなたは多くの方々に「支えられて」今ここに立っている。そのことを忘れてはならない。その支えられているという気付きは、いつしか相手への感謝の気持ちになり、あなたを必ず成長させてくれる。」と教えて頂きました。

この「一瞬が宝もの。」この人生の宝物を大切に「いま、ここ」を歩んで参ります。　　合掌